

KSKP

たびだち つうしん

出

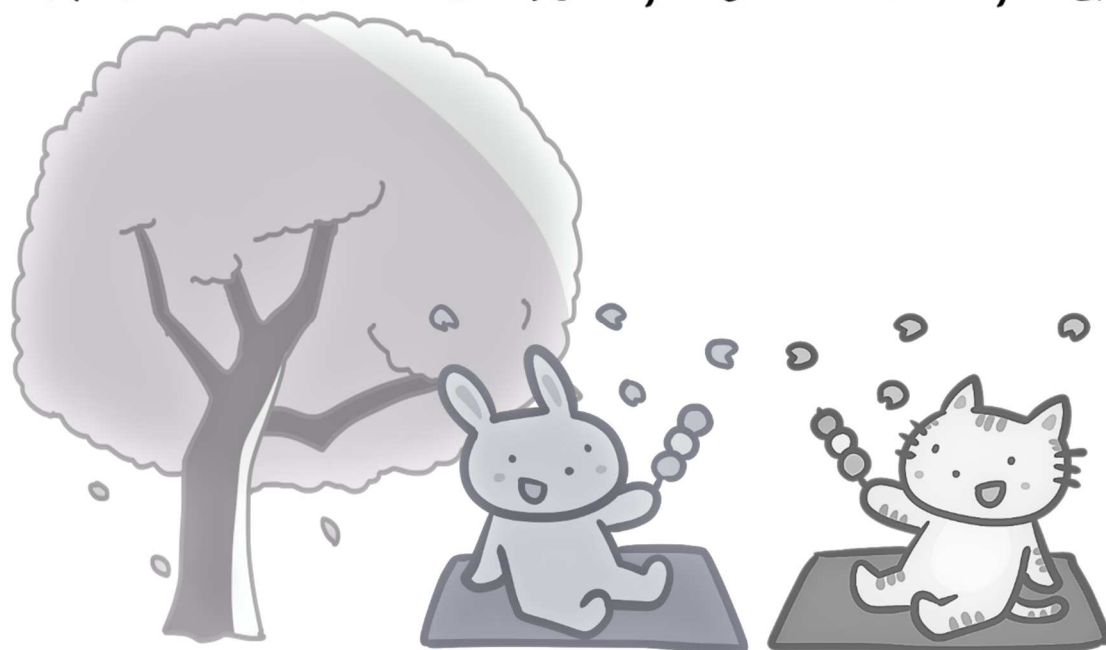
発

通

信

166号

NPO法人 出発のなかまの会



一九八四年 八月二十日 第三種郵便物承認  
毎月 1・2・3・4・5・6・7・8の日 発行

もくじ  
目次

たびだち かい しゅうねん 出発のなかまの会40周年	2
こうざはじ 「ガイヘル講座始めました！」	5
こ いのち をまもり、こ そだ ささ いばしょ 子どもの命をまもり、個の育ちを支える居場所づくりへ	6
ふくしま in おおさか～がっしゅくへん～ つながろう福島 in おおさか～合宿編～	7
ちいき い わたしたちは地域で生きているんだ！	8
こそだ にっき スタッフ子育て日記	10
ねん ど そうかい あんない 2019年度総会の案内	11
かつどう 活動のあと	12

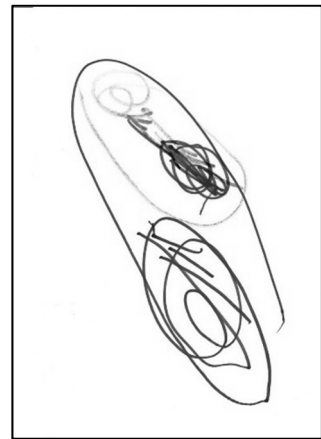
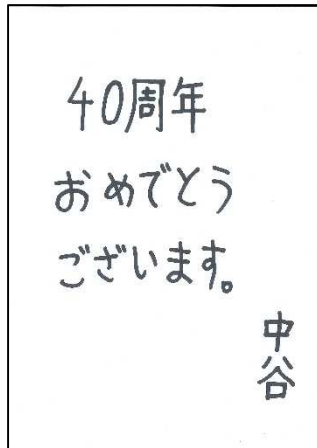
# 出発のなかまの会 40周年



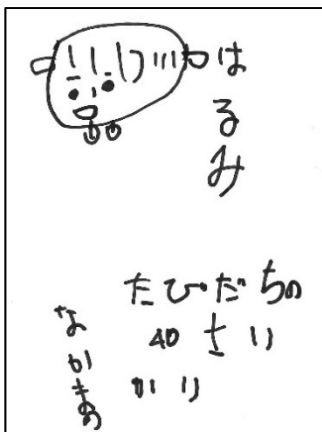
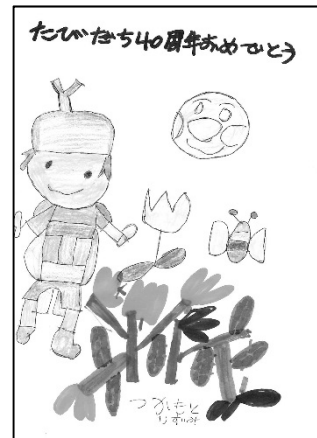
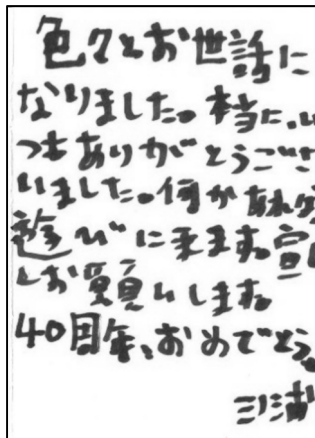
出発のなかまの会は今年設立40周年を迎えます。この場を借りて皆様に御礼申し上げます。これからも、だれもが排除されることのない社会をつくっていけるように活動を続けます。メンバーからお祝いのメッセージをいただきましたので掲載します。



山本さん



田中さん



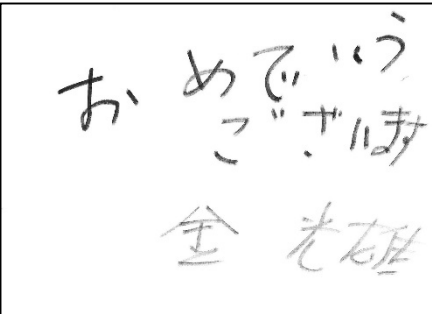
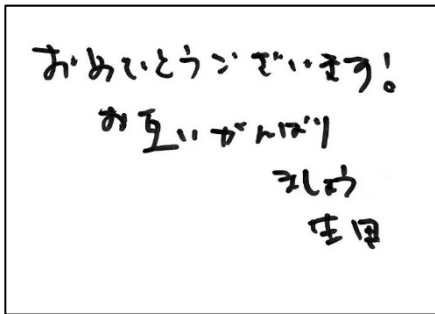
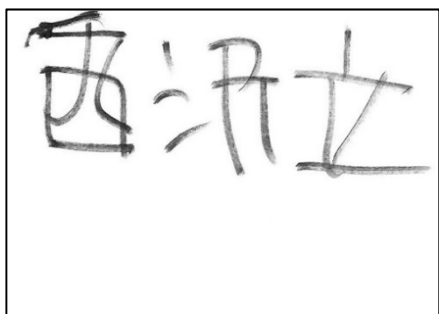
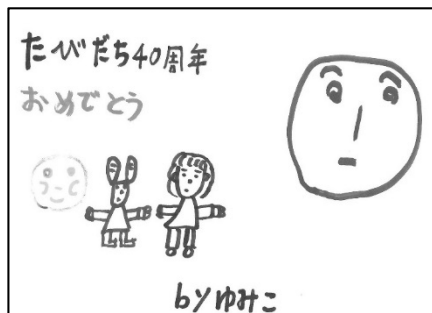
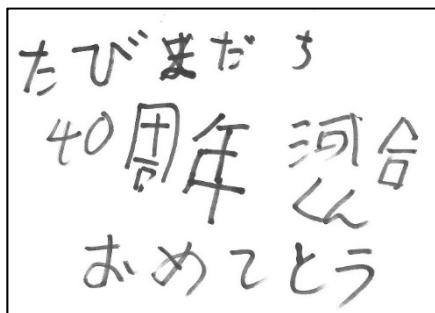
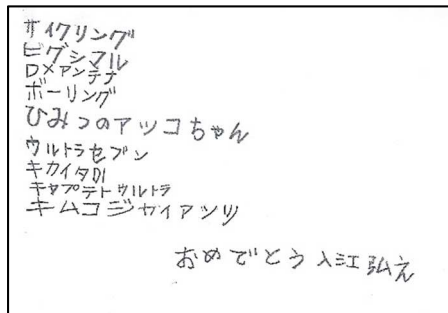
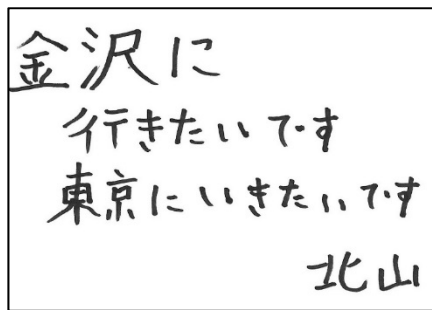
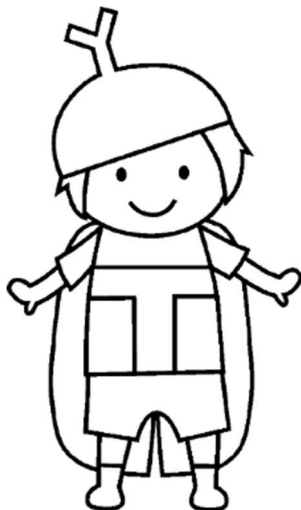
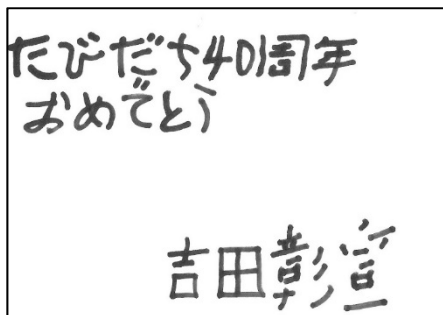
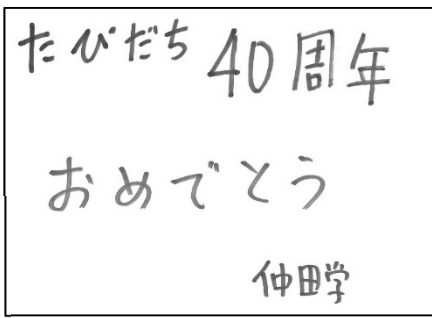
小道さん

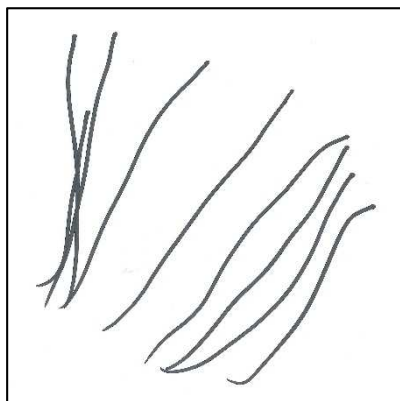
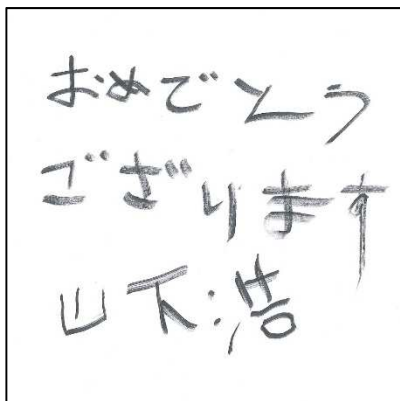


朴さん



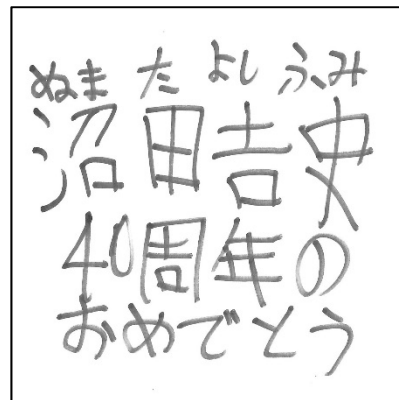
40周年おめでとう



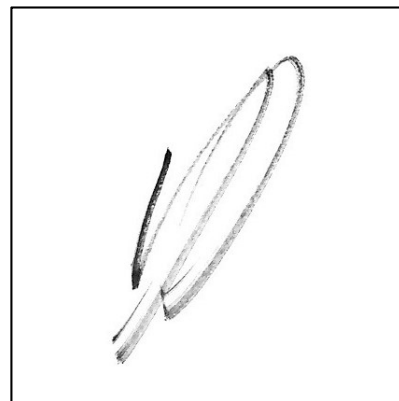
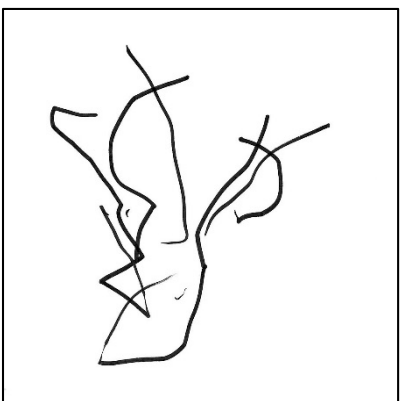
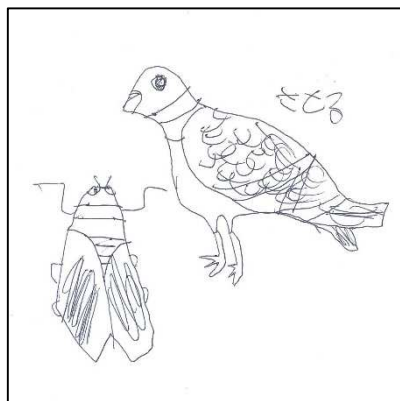


大浦隆男さん

池田さん

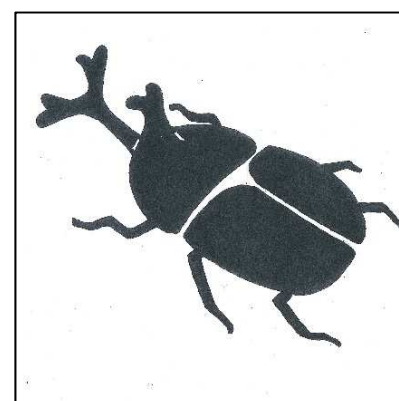
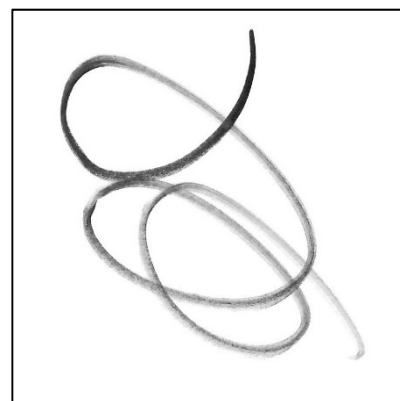
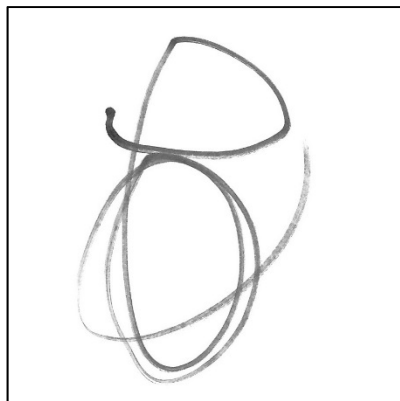


香山さん



笠永さん

島谷さん



辻さん

大浦規男さん

## 「ガイヘル講座始めました！」

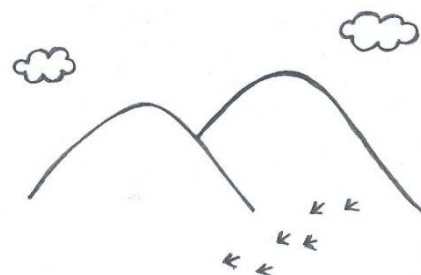
この何年も「ヘルパーさん来ないかなあ」「人がいないよねえ」「誰か紹介してほしいなあ」と集まれば出てくる言葉。切実な問題です。そこで、「ヘルパーさんがいないなら自分たちで育てればいい！」とガイヘル講座（＝ガイドヘルパー養成講座）を始めました。

座学 2 日・実習 1 日の計 3 日間でガイヘル資格が取れる！メンバーさんにとってはヘルパーが増え、当たり前前に外出を楽しむ機会も増える。受講生は資格取得で、自身の励みにも自信にもつながり、働くことができる。そんな気持ちで 3 日間 11 名の受講生を迎えて開講しました。

思えば私もこの世界に入ったきっかけはガイド（＝外出支援）でした。丁度、前職を退職した時期で知人に声をかけられ、話が進み、あっという間にガイド当日。奈良県出身で地下鉄・市バスなど乗り物と場所の関係が全く分からず、焦りました…。ひたすらメンバーさんの後について

地下鉄車両の 1 番前から後ろまで歩いたのは初めての経験でした。甘いものが苦手なメンバーさんに知らずに笑顔でケーキをすすめてしまったり、グループ活動として川遊びや六甲スキーに行ったりといろいろな活動をさせてもらいました。どの活動も不思議なくらい「楽しい！」と感じ、最終的には二上山ハイキングのガイドでスタッフになることを決めました。私だけの人生では出会えない趣味や活動、乗り物、食べ物などをメンバーさんのお付き合いで広がっていく事のおもしろさ、見つける楽しさ、人との出会い、あたたかさ。決していい時ばかりではありませんが、壁にぶちあたった時に「次、どうしようか。」「他の方法は？」「何とかできる。何とかなる！」と考える事が出来るようになりました。

今回のガイヘル講座実習ではハイキングサークルのメンバーさんに講師をお願いし、箕面ハイキングに行ってきました。出発してすぐに市バストラブル発生！お弁当を食べているとカラスがお弁当めがけて飛んできて、滝の前ではサルがお菓子目あてに近くまでやってきて目が合い牙を向けられる、と盛り沢山な実習となりました。帰ってきた受講生の第一声は「楽しかった！」でした。無事に修了証を手にした受講生が、これからいろんな場面で活かしてくれることを願いつつ次回は秋の開講を予定しています！



(カズエ・F)

## 子どもの命をまもり、個の育ちを支える居場所づくりへ

2月初めに、「ヨルダンひろばふれーぱーく」第2弾をおこないました。子ども達はダンボールキャタピラ大会でもりあがっていました。あったかい食べ物もたくさん用意しました。たこ焼き、トックスープ、石窯で焼く手作りピザです。自分で生地をこねて伸ばし、具を乗せてつくるピザは思い出に残る一品になったでしょうか。足湯でほっこりできるスペースにも意外と子ども達が集まっていて少し驚きました。

さて、児童虐待の痛ましい事件報道が続いた昨年度、全国の警察が児童相談所に通告した子どもの人数は8万104人で過去最多でした。大阪市でも虐待件数は増加の一途を辿っており、年間の相談件数は5千件を超えています。これは全国最悪水準です。

児童虐待事件の報道では児童相談所の不手際や判断ミス、関係機関との連携不足が指摘されています。政府は、児童相談所に配置している児童福祉司の増員や、子どもに関する新たな資格を創設するなど、体制の強化に乗り出しましたが、経験の浅い職員が対応できるのかは甚だ疑問です。というのも、虐待が起こる背景にはさまざまな要因があり、その要因にアプローチするためには高度な知識や技術が求められるからです。支援者の精神的な負担も大きく、チームでアプローチすることも重要です。ケースに関わる関係者が協力して継続的に支援していくことも求められます。

生野子育て社会化研究会では、日頃、地域で孤立している子どもに対する支援の現場で感じていることをまとめて、市議会に『児童虐待防止対策』を機能させるための民間支援者との協働を求める陳情書を提出しました。子ども本人に直接会って状況を確認することや、関係者が随時、個人情報適切に共有すること、親への継続的な支援の重要性を訴えました。これらの陳情は「継続審議」となってしまいましたが、この後、大阪市内に「提言書」を提出して、子どもの支援について意見交換をすることができました。

子どもの人権は侵害されやすいにもかかわらず、子どもたちは自分で現状を変えていく十分な術を持ち合わせてはいません。子どもたちの気持ちを受け止めたり、意見を聞いたりする場所をもっとつくっていく必要があると思います。

今春から研究会で、「いくの子ども食堂」をはじめました。子どもたちの居場所のひとつになればと思います。ボランティアも募集しています。どうぞお気軽にお声かけ下さい。

(カオリ・I)

## つながろう福島 in おおさか ~合宿編~

大阪と福島のつながりを形にする企画として、2017年の夏に福島県郡山の「あいえるの会」のMさんが1週間大阪に来られ、他団体と連携し研修を実施しました。その後も当会のメンバーが福島に行き交流したり、「あいえるの会」の代表のSさんを招いて大阪で講演をしてもらったり、有志メンバーを中心に継続してつながりをもってきました。そして今回は合宿！「あいえるの会」から当事者3名、大阪の当事者も多数参加され、NPO ちゅうぶを拠点に2泊3日でおこないました。

1日目は福島の当事者から、今の生活の話や合宿に参加した思いなど話をしていただきました。なかでもAさんの結婚、出産、子育ての生活を22年間に渡って追ったドキュメントDVDはかなり印象深いものでした。映像を通して見えてくるAさんの生き方に、母として女性としての優しさと強さを感じました。今回の合宿には2人の子供さんも同行され、「他の家族と何も変わらない普通の家族」というお話も心に響き、何よりも素敵なお家族で心あたりました。その後のウェルカムパーティーには総勢71名の方が参加し、交流を深めました。この中で当会のメンバー2名が自分たちの生活の話や当事者活動の話のパワーポイントを使って紹介しました。知的に障害をもった方の生活や発表スタイルに新鮮さを感じてもらえたようで、みなさん熱心に耳を傾けてくれていました。緊張しつつも、気分がのってきたメンバーのアドリブにたくましさを感じました。

2日目はグループに分かれて大阪観光をしたり、ひとり暮らしの当事者のお宅やグループホームを訪問して意見交換等を行いました。制度や地域性など福島と大阪の違いはあるけれど、実際に見て聞いたことは互いの刺激になり、大阪の当事者同士でも意見交換できたことは良かったという感想が多くありました。個人的には生野区の街の銭湯に入りに行ってもらったことが良かったかなと感じています。初めて介助させてもらう方と、バリアだらけの銭湯でどうなるのかなと思いましたが、楽しんでもらえたみたいでした。

今回合宿を提案された「あいえるの会」Sさんがおっしゃるには、「合宿をする中でたわいもない話をしているにも関わらず、連帯感が深まり、仲間意識が芽生えていった」とのこと。世代が変わってもそのことが共感できる仲間がいることを参加した方は感じられたようで、夜遅くまで語り合う姿は、まさに合宿ならではの光景だったのではないのでしょうか。大阪と福島のつながりをきっかけ



に、大阪の中でも横のつながりができてきていることは大きな収穫になっていると思います。普段の活動の中でも何か一緒に活動をして、互いに足元を耕していけたらいいですね。私もこの合宿を通したくさんの方の思いに触れ、生き方を知り、自分が背中を押してもらっているなあと感じました。次は福島で合宿第2弾を予定しているので、その時もまた一緒に何かできればと思っています。

(トモコ・I)

## わたしたちは地域で生きているんだ！

Tさんから「上本町の本屋さんに、本を買いに行きたい」と、手紙をもらったのは、水曜日の朝でした。Tさんは言葉で表現することが難しい（勇気がいる？）時は、手紙やメールなど文字を使って、気持ちを発信します。夕方、帰って来たTさんに話を聞くと、「本屋さんに電話をかけ、在庫があったので、取り置きをしている」と、話してくれました。Tさんにとって、知らない人と話すことは、勇気がいることです。電話をかけても、なんといいのかわからない言葉が見つからず、受話器を握ったまま無言になることも過去にありました。「一人で（電話）かけたの？すごいな、いつ行くの？」と尋ねると、笑顔で「今日」と言い、自転車で出かけていきました。上本町へは、何度か一人で出かけたことがあったので「困ったら、電話してね」と見送りました。



30分経った頃、Tさんの親御さんから「天王寺から上本町へは、どうやって行きますか？って、電話があった…」と、連絡がありました。現在地を確認するため、何度もTさんに電話をかけましたが、つながりません。親御さんも「誰かについていったらどうしよう」と心配されています。私も「何かあったらどうしよう…」と、心臓がバクバクしました。

それから30分後「Tさんと電話がつながったよ」と、他のスタッフから連絡がありました。天王寺のよく利用するバス停で待ち合わせをして、迎えに行ったスタッフと帰ってきました。Tさんの「ただいま」の声でホッと、「おかえり～」と抱きしめていました。

夕食を食べながらTさんは「駅員さんに道、聞いたよ」「地図見せてもらってん」「（道



が) わからへんかった」と、まっすぐな目をして、話してくれました。ガイドヘルパーを使って外出をすることが多いTさん。ヘルパーが困ったときに、駅員さんに尋ねているのを見ていて「駅員さんは安心できる」と思ったのかもしれませんが。

本は買えなかったけれど、一人で行くと決めたこと、困ったときに電話をかけたり、人に尋ねられたことは、Tさんが持つ“できる力”なんだと感じました。と同時に、メンバーさん一人ひとりの“やりたい気持ち”“できる力”を、私は本気で信じていなかったのでは？と、考えさせられる出来事でもありました。

翌日、雨が降っていたので、Tさんはなんば行きのバスを利用して、上本町へ行くことにしました。上本町はなんばまでの途中にあります。バスの時刻、バス停の場所を確認する作戦会議をしてから、送り出しました。

30分ほどして、「本を買いました。バスに乗って、帰ります」とメールがあり、安堵していました。しかし、1時間経っても帰ってきません。電話をかけてみると「なんばまで行って、出戸バスターミナル行きに乗ってん」と、明るい声で話してくれます。そうです、行きに降りたバス停で、またバスに乗って、終点から引き返している途中だったのです。しかも、Tさんが選んだ方法は、途中でバスを降りてしまうより、行き先を間違える確率が低いのです。「さすがやなあ」と、感心しました。

メンバーさんの“やりたい気持ち”“できる力”を信じて、回り道していても、応援していきたいと感じた2日間でした。

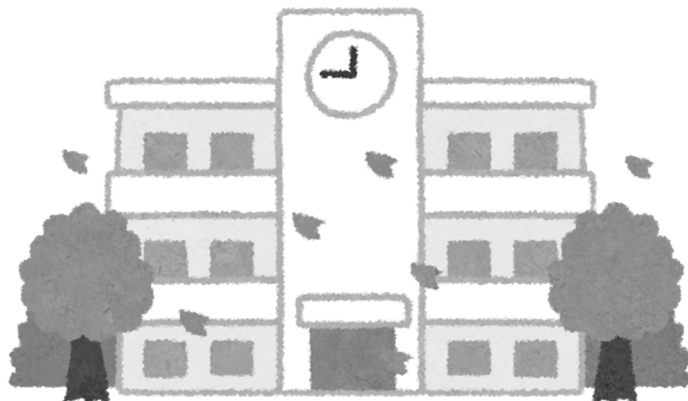
(アツコ・S)



## スタッフ子育て日記

長男が中学を卒業しました。受験生の母は大変だと聞いていました。でも、去年1歳違  
 いの長女の受験を経験し、聞いていたほどではなく高校生になったので長男もなんとかな  
 るだろうと思っていました。が、私は甘かった！中3の中間試験にばっちり重なった  
 FIFA ワールドカップ！連日連夜テレビの前にかじりついた結果、中間試験でとんでもない  
 点数をたたき出し担任に“急流すべり”と言われ、夏を迎えました。同級生は部活を引退  
 し受験まっしぐら。長男は小学生からやっている剣道で高校には行くだろうと誰もが思っ  
 ていたので部活を引退せず、文武両道！のはずが全く勉強しない。私は時間を狙って  
 「塾いきや〜」と電話。ところが帰宅すると決まって長男は家において「忘れてた」と。電  
 話したやんか！！ついに「全く来ていないので月謝返金します」と塾長からのクビ  
 宣告。夏が勝負！なんでしょー。私：「どうするつもり！」長男：「高校いかへん！」と喧  
 嘩が絶えません。私は焦っていましたが、長男も彼なりに色々考えていたのでしょう。あ  
 る日素振りをしながら「高校でも剣道頑張る。明日、先生にお願いしてくる。」といった時に  
 はホッとしました。ただホッとしたのは一瞬で「学力も高い高校なので、いくら剣道で行  
 くといっても、とにかく勉強させて！」と言われなんとか机に座らせてみるものの、どう  
 も鉛筆を握ると集中が5分しかもたないようで。また焦り、怒る私。そうこうしながら迎  
 えた受験日。面接では「文武両道で頑張ります」と答えたいです。嘘だあ。  
 先日、道場や部活の先生に最後の稽古をつけてもらい号泣する長男を見て、少しは  
 成長したかなとうれしかったのですが、「人って簡単に変わらんって言うやん」と抜け抜け  
 という長男。高校生になったら一安心ねと言われたけれど、まだまだ心労が絶えそうにあり  
 ません。

(ユカ・S)



## 2019年度総会のお知らせ

いつも当会の活動へご支援いただきありがとうございます。本当に多くの方々から支えていただき、出発のなかまの会は、設立40周年を迎えることができました。深く感謝いたします。

これからも、法律や制度がどうであれ、“地域で支援を必要としている人”に必要な支援ができるように、“生きにくさを抱えた人”が社会から孤立することがないように、当事者の方や地域の方と共に、日々の活動をとおして『地域』づくりの取り組みをすすめていきたいとおもいます。

下記の日程で、2018年度の活動をふりかえり、新たな活動をスタートさせる総会を開催いたします。会員の皆様、是非ご参加ください。

日時： 2019年5月25日(土) 10時30分～12時30分

場所： KCC会館 (大阪市生野区中川西2-6-10)

正会員、寄付者として出発のなかまの会の活動をご支援ください！

◆正会員・・・活動を支援し、総会に参加して下さる個人の方

会費3,000円+通信送料300円 計3,300円

◆寄付者・・・活動を支援して下さる個人・団体の方

寄付金 年間3,000円以上

★認定NPO法人として認定されましたので、当会へのご寄付は、税制上の優遇措置

【所得税・個人住民税(大阪市内・府内にお住まいの方)】を受けられるようになります。認定NPO法人として続けていくためには、年間3,000円以上寄付して下さる方が、100人以上必要です。ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

◆購読者・・・出発通信を購読して下さる方

購読料500円

☆振込先：郵便振替 00910-9-306080

特定非営利活動法人 出発のなかまの会

※すでに寄付金をいただいた方にも事務作業の都合で、振込用紙を同封させていただきま  
す。お許してください。

※通信の郵送がご不要の方はご一報ください。

活動のあと

11/12~24 ゆうのゆうにて絵画展	1/30 執行委員会
11/12~25 実習受け入れ(四天王寺大学)	2/2 ふれーぱーく(ヨルダン広場)/みらくるちっぷ検討会議
11/13 どんどん学習会(対市交渉②)	2/3 みらくるクラブ【金剛山】
11/13~15 鹿児島旅行	2/4 生野区NPO連絡会/八尾事件を考える会
11/14 松野農園文化交流祭2018(松野農園)	2/8 グループホームスタッフ全体会議
11/16 食と農のプロジェクトをすすめる会/どロン(松野農園)	2/9 みらくるジャンプ(松野農園)/内部研修(発達障害勉強会)
地域共生ケア生野推進委員会	2/10 サラダボウルプログラム(松野農園)
11/17 内部研修(人権研修④)/内部研修(発達障害勉強会)	2/12 成年後見学習会
アールブリュット展&当事者ライブ	2/13~15 赤倉スキー旅行
11/18 サラダボウルプログラム(松野農園)	2/13 生野区グループホーム連絡会
11/19 大阪市オールラウンド交渉①	2/14 ILP(自立生活プログラム)講座【スケジュール管理編】
11/20 理事会/大阪市オールラウンド交渉②	2/15 食と農のプロジェクトをすすめる会
11/21 生野区学童期の子ども支援連絡会/生野区NPO連絡会	2/17 多文化共生セミナー
11/22 ILP(自立生活プログラム)講座【スケジュール管理編④】	2/19 作業所ミーティング
11/23 第9回東北⇄関西⇄九州ポジティブ生活文化交流祭出店	生野区まちづくり協議会ブロック合同会議
11/24 読書会(松野農園)	2/20 生野区学童期の子ども支援連絡会
11/25 みらくるクラブ【運動会】(舍利寺小学校)	2/21 障大連グループホーム部会/大阪府グループホーム訪問
サラダボウルプログラム(松野農園)	2/22 どロン(松野農園)/避難訓練(生活介護)
11/27 作業所ミーティング	地域共生ケア生野推進委員会/UJFリサーチインタビュー
11/28 執行委員会/成年後見推進委員会	2/27 執行委員会
11/29 内部研修(感染症予防研修①)	2/28 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
どんどん学習会(ピープルファースト)	3/2~4 春の竹合宿~つながろう福島 in おおさか~
11/30 内部研修(感染症予防研修②)	3/5 不登校・ひきこもり支援の会/生野子育て社会化研究会
12/1~2 ピープルファースト in 奈良	3/8 グループホームスタッフ全体会議/通信編集委員会
12/7 グループホームスタッフ全体会議	3/9 契約更新手続き①/内部研修(発達障害勉強会)
12/9 大阪障害者自立セミナー2018	松野農園寄席(松野農園)
12/11 生野区NPO連絡会	3/10 サラダボウルプログラム
12/12 生野区グループホーム連絡会/鈴鹿旅行報告会	3/13 消防設備等法定点検①
強制不妊手術裁判傍聴	生野区「子どもの居場所」意見交換会
12/13~14 京都旅行	3/14 契約更新手続き②/消防設備等法定点検②
12/14 「男性の居場所」講座(松野農園)	生野区自立支援訪問系事業者連絡会
12/15 歌とピアノの音楽会(松野農園)/内部研修(発達障害勉強会)	3/15 契約更新手続き③/食と農のプロジェクトをすすめる会
12/16 みらくるクラブ【もちつき】(松野農園)	3/16 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座①
12/17 障大連事業所ネットワーク全体会議第1グループ会議	3/17 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座②
12/19 かのんケア会議	みらくるクラブ【あそぼうパン】(松野農園)
12/21 食と農のプロジェクトをすすめる会/どロン(松野農園)	3/19 安全委員会/作業所ミーティング
障大連運営委員会	3/20 執行委員会/人権クラブ
地域共生ケア生野推進委員会役員会	3/21 どんどんプロジェクト会議
12/22 みらくるジャンプ(松野農園)	3/22 どロン(松野農園)/地域共生ケア生野推進委員会
12/23 内部研修(職員パワーアップ会議)	3/23 知的障がい者(児)ガイドヘルパー養成講座③
12/24 サラダボウルプログラム収穫祭(松野農園)	読書会(松野農園)
12/26 らいすケア会議/執行委員会/生野子育て社会化研究会	3/25 入学入園おめでとう会(みらくるちっぷ)
アデランテ会議	3/26 内部研修(ワンポイント講座)
12/27 内部研修(ワンポイント講座)	3/27 生野区NPO連絡会
12/28 作業所もちつき	地域共生型福祉サービス運営推進協議会(あでらんで)
1/2~4 Nさん東京旅行	3/28 節目のお祝い会
1/9 生野区グループホーム連絡会世話人会	3/30 サラダボウルプログラム【桜まつり】(弥栄神社)
1/10 生野区自立支援訪問系事業者連絡会	4/2 いくの子ども食堂オープニングイベント
1/11 グループホームスタッフ全体会議	4/3 作業所花見(鶴見緑地公園)
どんどん新年会/生野区NPO連絡会	4/5 グループホームスタッフ全体会議
1/12 『むかしMattoの町があった』映画上映会	4/11 生野区自立支援訪問系事業者連絡会
1/13 みらくるちっぷ新年会	4/13 みらくるジャンプ(松野農園)
1/17 ILP(自立生活プログラム)講座【スケジュール管理編⑤】	4/14 サラダボウルプログラム(松野農園)
1/18 食と農のプロジェクトをすすめる会どロン(松野農園)	4/17 生野区NPO連絡会・研修/生野区学童期の子ども支援連絡会
1/19 読書会(松野農園)	4/18 八尾事件を考える会
1/20 サラダボウルプログラム(松野農園)	4/19 食と農のプロジェクトをすすめる会
1/21 ILP(自立生活プログラム)講座【スケジュール管理編⑥】	4/21 みらくるクラブ【木登り】(住之江公園)/志摩マラソン
1/23 執行委員会/第三者委員会/項目別ケア研修①	4/22 二者会議
1/25 どロン/出発通信発送	4/23 作業所ミーティング
地域共生ケア生野推進委員会役員会/障大連運営委員会	4/24 執行委員会
1/27 『オキナワへいこう』映画上映会	4/26 どロン(松野農園)/地域共生ケア生野推進委員会役員会
1/29 生野子育て社会化研究会(生野区協議)	障大連運営委員会
作業所ミーティング	4/27 内部研修(発達障害勉強会)
	4/28 サラダボウルプログラム(松野農園)

一九八四年八月二十日 第三種郵便物承認 毎月 1・2・3・4・5・6・7・8の日 発行  
 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町二一 東興ビル4階 頒価百円

編集後記  
 新元号が【令和】と発表されました。万葉集に記載されている梅花の歌32首の序文だそうです序文、ということはこれから先の本文、物語は私たちが主人公。素敵な物語が描かれますように。(アヤノ・F)

編集人  
 特定非営利活動法人 出発のなかまの会  
 〒544-0011  
 大阪市生野区田島1-10-30たびだち共働作業所内  
 TEL 06-6758-6641  
 FAX 06-6758-6749  
 郵便振替 00910-9-306080  
 (特定非営利活動法人 出発のなかまの会)  
 Eメール nakamanokai-1@tabidati.jp  
 ホームページ http://www.tabidati.jp/ 750部